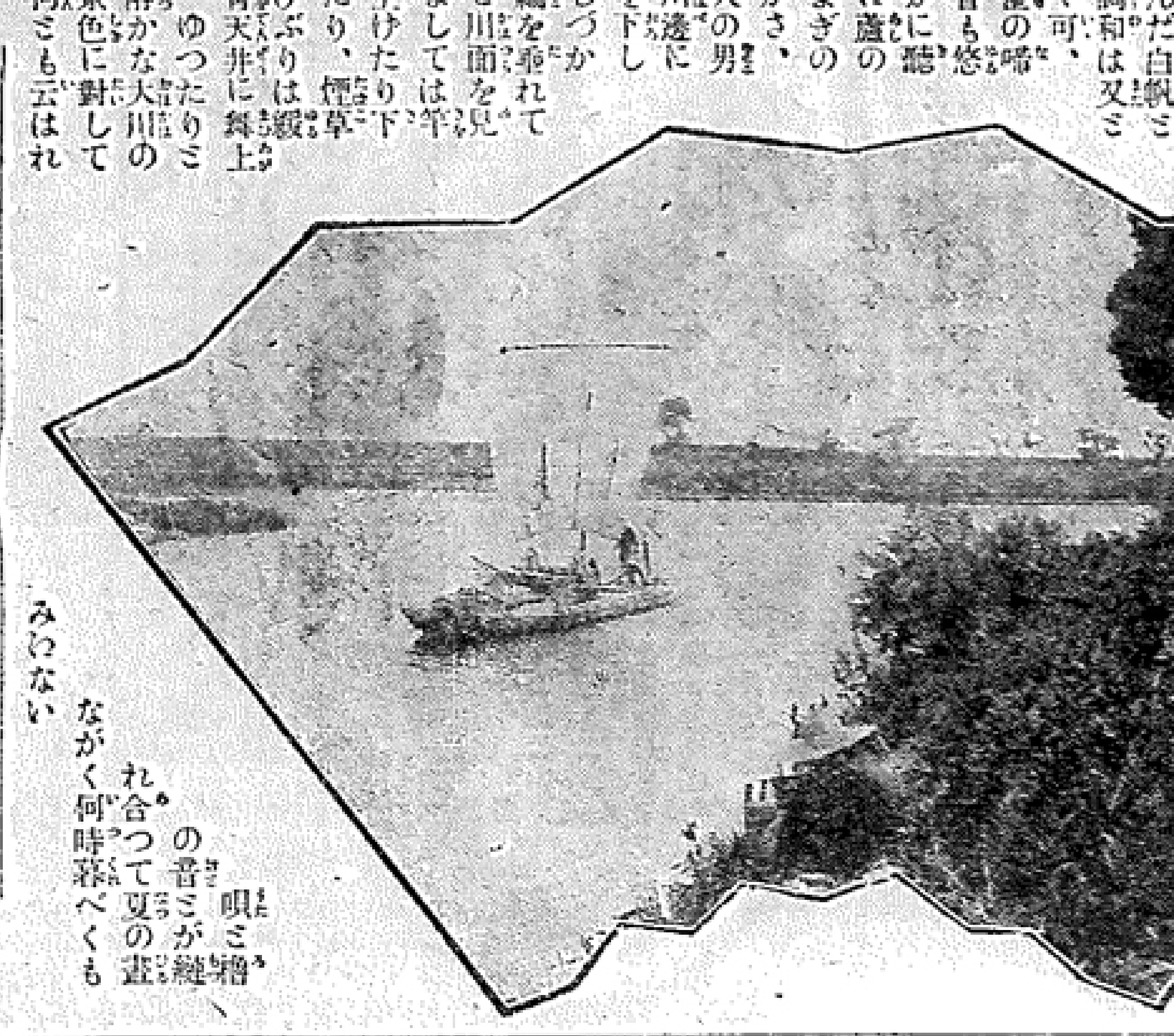
□夏の川

ゆる／＼流れる大川の水、初夏の流晝時を川縁に憩へば川風が涼しく顏を撫でる藍色の水と淺緑の堤と風を孕んだ白帆との調和は又となく可、雲雀の啼く音も悠やかに聽こゆ蘆のそよぎの爽かさ、一人の男が川邊に下りて腰を下してしづかに綸を垂れて漫ろ川面を見すまして竿は下げたり上げたり下げたり、煙草のけぶりは緩く青天井に舞上る、ゆつたりとした物靜かな大川の夏景色に對しては何とも云はれぬ夢見心地に誘はれずにゐない、時々軽く水を滑つてゆく舟の中からは船頭の唄と櫓の音とが縺れ合つて夏の晝ながく何時暮べくもみえない



●歐羅巴からアメリカを經て小樽まで

昨朝歸樽せる高商教授國松豊氏

專攻科目たる會計學研究の爲め二ケ年間獨、英、米に遊學せる小樽高等商業學校教授國松豊氏は二日横濱入港の佐渡丸にてシャトルより歸朝昨十二日朝着樽した、同日高商に氏を訪へば磊落にして快活なる氏は次の如く語る「私が歸朝の航海中は海上風波高く頗る困難したが之が爲危險區域の通過に際しても例の潜航艇の襲來に對し比較的安心するを得た、併し何時其襲來を受けぬとも限らぬので舷側には短艇が卸され

國松豊氏

ライフヴイまでが用意されてゐた、英國汽船の戰々兢々たるに引換へ米國汽船はアメリカンラインの旗を船尾に飜し悠々航海を續けて居た、恰度一昨年八月二日伯林滯在中の事である、日本は露國に向つて宣戰を布告せりとの號外が伯林市民を熱狂させた當時在留同胞の持てる事甚しく酒場の前を通れば引張り込まれる、**時々捉まつては胴上げされる**といふ有様だつたが八日頃から態度が忽ち一變し日本人倶樂部などへ出入するたびに角袖ならぬ刑事に後をつけられた、其内に國境は鎖される、**大使館の公文電報は沒收される**、學資が途絶ゐる、十一日頃からは邦人は五十人百人と纏まつて夥々退去するやうになつた、私共の暢氣組も大使館からまだ立退かぬかと叱られ十七日に殘つた者だけ愈々出立ときめたが日本人倶樂部の他の幹事は皆出發して**自分と慶應出身の西村君**だけが殘つたので十六日の晩徹夜で倶樂部引拂の準備やら下宿屋の後始末やら下女の解雇やらの手配りをつけ其翌日は早朝から貨幣の兩替へに各銀行を飛廻つた、國境では英貨などは沒收の虞があるから**悉く和蘭の貨幣に替へる**、だが限定などは遂々に胡魔化された散々輓手古摺した後約束の正午に停車場へ駈付けると誰も居らぬのでさては遣られたなと思つた、私達一殿の選抑組は十六日に一人でも遲參者があれば捕虜にされたものと見做し一同出立見合せといふ決議が出來て居たのである所が之はコックやなどの旅行免狀が下附されねば出立が出來なかつたので午後三時半の列車で更に角出立した、途中際した如き困難もなくパッスポートや手荷物の檢査を受けた後で十九日に獨逸を出てホッと一息吐くと此日**日獨宣戰の事が發表さ**れ國內に殘つた邦人は保護といふ名の下で捕まつた、かくて和蘭を經て廿二日倫敦へ着した、所で英國の都市に先づ呆れたは探海燈でツアト、由來、中折さいふ頗多な兵隊さんが危なつかしい調練をして居た事だ例のツ航空船は屢々來襲したが倫敦市民は中央倫敦の上空を襲はれても決してさうとは云はず倫敦地方とか何んとかと済まして居る、**ツ船が一過した後**は各所から出火する、街上には深さ一間、廣さ八疊敷位の穴が穿たれるといふ始末此時だけは戰爭らしい感じがした、英國に六ヶ月滯在して紐育に渡り始めて明るい街を見て戰爭のない國はいゝと思つた、專攻の會計學に就いては獨逸の講義が一番進んでゐるのを感じ英國はや、期待に背いた米國は講義としては實に詰らないがこれが實際的應用に至つては有繁に最も進歩して居る」云々

●明日の札幌齋宮祭

稀有の盛況を呈せん

札幌神社祭禮は愈々明十四日より十六日迄三日間執行、二百萬道民敬神の至誠籠り眞に未曾有の盛況を呈すべく各祭典區共準備全く成り山車小屋踊屋臺等も既に出來上り目下町內裝飾に意匠を凝らしつゝあり尙創成河畔の興行物も東京東商會其他裝飾請負業者の手に依りて小屋掛けを取急ぎ何れも十四日宵宮祭當夜より蓋開けの運びなり▽**第九區** 山車は「猿田彦命」にて馬二頭に曳かせ委員百餘名は單衣紋付に熨斗目裃を着け花笠薄一文字笠を冠り神樂太鼓を先頭に揃ひの印袢纏に身を固めた若衆約二百名附添へ賑しく練廻る由町內裝飾は浦河通りより東一、二、三丁目方面には一町毎にイルミチーションを飾り苗穗通り南側に高張提灯を連ね尙大規模の踊屋臺を設け藝妓の手踊あるべし▽**第十區**「村上義光」の山車にて山車用の緞帳は頗る華美を極めたる新調品にて委員六十名は熨斗目社杯に花笠を冠り數十名の若衆揃ひの扮裝にて之に加はる又停車場前には華表型緑門を設へ拓殖銀行前まで兩側に六尺置きに提灯及電飾を施し町內廿箇所に高張を飾り幟十五對を樹つ▽**第十一區** は踊屋臺にて活動人形を飾り農大の巨牛二頭に曳かせ藝妓の手踊及素人の隱し藝を演ずべく委員百五十名は腰に浪模樣を染抜きたる單衣に鼠色巴定紋の社杯を着け花笠を冠り數十名の若衆を差加へ練廻る由尙辻々にイルミテーションを飾り町內裝飾に贅を盡す筈△**第十二區** 高砂太鼓に笛を添へ第十二區の祭典式を押樹て委員七十名は揃ひの紋付袴にて二列に隊を整へ渡御に供奉、町內四十箇所に電飾を施し踊屋臺二箇所を設け芝居芸や手踊等を行ふ▽**劇場寄席** お祭の興行物は札幌座の浪花節壽雲、大黒座は良一々座の外第一第二神田館、エンゼル館は日活會社連鎖劇東京館中央館は天活會社連鎖劇にして小樽館は浪花節南桃中軒甲右衛門(巴館)も浪…▽**見世物** 大通西五丁目大曲馬一行は自轉車曲乘加入中國人支那人の曲藝相撲等にて創成河畔の興行九本あり地球踏マンマル一を始め親大蛇と稱する怪物長四間半胴廻り三尺三寸せる大蛇最も珍らしく其他榮、百糖及金鏡義興の鐵綠芝居、娘足藝、活動寫眞、…

●札幌の大飛行近づく

札幌二日小樽一日函館一日旭川

世界的エヤマンたるアート、スミス氏は十一日宇都宮、十二、十三の兩日仙台の飛行を終へ明十四日又は十五日朝札幌に到着の豫定なり、一行は支配人楢引、マネージャア佐々木兩氏の外に技師[illegible]豆自動車に搭乘する外人四人

百馬力の機體は明日先發技師と共に到着すべし飛行場は北二八條西二三丁目京都合資會社用地にして外側二町四方に板圍ひを建て其場內東西六十間南北百間の競技場を設け幅五十間宛の豆自動車競走場を設く格納庫は北方に添ひたる所にして**滑走は北より南に**向ふ由なり、入場料は既報の如く、特等會員三圓一般普通會員五十錢の外生は廿五錢(團体廿錢)小(團体廿錢)にて賣行宜し、夕張線、岩見澤方面よりの續々ある樣飛行は十五、十**さし兩日とも午後**…**と四時の豫定**…廿分間づゝ、雨上るやも知れ…午後五時より日米協會札幌…名はスミス氏の爲盛大なる…くべく昨今ローランド氏專…り、尚札幌飛行後は直に當…七日公園グラウンドにて飛…川飛行は會場の關係上中止…日は函館飛行場へ向け出發…

●アート、スミス氏から來狀

昨日スミス氏より本社に來狀あり、左の如し

我が親愛なる北海道の友よ、予は「豐饒の地」として知らるゝ北海道に遊ぶの絶好機會を得たるを欣ぶ、予は米合衆國に於ける我上官の命令に依り六月十日前に日本を出發、七月四日獨立祭當日前に本國に歸着する豫定なりき、然るに幸か不幸か予は衷心より熱心歡迎しつゝある貴國民の切實なる好意に背き難きものあり、七月四日米國に於ける飛行に支障を來さゞる限り余は日本に於て今一回飛行し得る事を以て最大幸福となすものなり、人類の未だ生存せざりし以前に於て北米大陸と連續せりと傳へらる、此地に於て飛行し得る事は余の最大幸福とする所なり、即ち更に一ヶ月の予の滯在は日本の各地に於て飛行するを得せしむ、予は日本の各地に於て飛行せずして全日本國民の滿足を得ずして本國に歸る事は予に取つて此上なき失望であると共に頗る不幸とする所である、北海道に於ては予は予の力と技術の能ふ限り有ゆる種類の飛行を試むべき決心なり

アート、スミス

●苫島丸から墜落した少年

つひに行衛不明となる

東京市京橋區南紺屋町米村英雄所有汽船苫嶋丸(一四七二噸)は先月二十七日函館出帆露領勘察加に向け航行中同七時四十五分頃第二番艙口一名の船員海中に墜落せる…進行を中止し救命浮環を投じ…衛不明となりたるより船舶隈なく搜索せるも遂に發見…むなく搜索を中止し一方…を行ひしに石炭夫富山縣射水郡大字大渡寺町千二百六十一…弟若坪捨次郎(十六)なること…り墜落原因を調べたるに同…後八時より當番となりたる…的を以て機關室に向ふ途中…しく梯子を攀登る際足を踏…外に墜落せるものならんと…

●札幌競馬追じまひ

昨日は午前…札幌競馬場に於ける練習競馬は既報せるが昨十二日にして午前五時半攻馬を開…回は日高、春駒、ヒカリ、…ブレタッシュ、ダリヤの…るにサブレタッシュ第一着…觀る者何れも頗るイボアに…は番狂はせ次は第三著…ースの三頭にしてグレース…ではピリカ(騎手高松)、玉…澤)の二頭合せ、ピリカは…も聊々侮り難き勢ひ兩騎手…秘術を盡して勝を爭ひたる…を以て玉錦の勝となる、…村氏持馬)、カルカイ、金鵄…は五百間ばかりの程數少…

第二版